

全国各地から経験ある医師事務作業補助者が一堂に集まって学び、お互いの業務体制を知ることが出来て、とても良い刺激を沢山受けました。学んだことを当院でも早速実践していきたいと思えます。

2014年度医師事務作業補助者指導者養成講習会を受講して 独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院 安西雅子

2014年10月25日(土)、26日(日)、11月15日(土)、16日(日)の4日間にわたり、日本医療マネジメント学会主催2014年度医師事務作業補助者指導者養成講習会が開催され、当院からは私を含め2名受講いたしました。

32時間の基礎講習は複数の団体が開催していますが、今回の講習は医師事務作業補助者のリーダーを務める人材養成を目的とする唯一の講習会ということもあり、臨床医学から医事業務に至る日常業務に役立つ講義、マネジメントや人材育成についての講義、ワークショップなど多様なプログラムがあり大変勉強になりました。

ワークショップでは、現状と今後の課題についてのグループディスカッションを行いました。チーフという立場になってからは日々の悩みが尽きることはありませんが、このグループディスカッションでは、同じ立場で頑張っている方々とお話しすることもでき、非常に貴重で有意義な時間となりました。

今までは、医師事務作業補助者個人の業務量やスキルに目を向けがちでしたが、講義の中でもお話があった「ダイバーシティ・マネジメント」を活用し、今後はスタッフ各々のライフスタイルや価値観に合わせていくことが、より働きやすい職場となるとともに業務の質も安定させることにもつながっていくと感じました。

今後も講習会で学んだことを活かし、組織の成長につなげていきたいと考えておりますので、継続的に講習会が開催されるようでしたら当院からもまた是非参加させていただきたいと思えます。

最後になりますが、このような講習会参加の機会を与えてくださった日本医療マネジメント学会関係者各位にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

2014年度医療安全分科会に参加して

岩手県立中央病院 稲見敬子

2014年11月1日(土)・2日(日)の2日間開催された医療安全分科会に参加させていただきました。

医療安全管理専門員として2年目を迎えた私は、前任者から「医療安全に関する最新の情報を知るために最適」な研修としてアドバイスを受けていたので、迷わず



会場風景

参加手続きを取りました。

着任1年目は、研修会や会議などの準備・実施・まとめに追われ、日々過ごしていました。その中で、日本医

療マネジメント学会医療安全委員会委員長である、坂本すが先生の「あなた方医療安全管理者が自ら動くのではなく、組織を動かすのである。」という言葉聞いて肩の荷が少し軽くなり、今回の研修では、医療安全のマネジメント戦略として、メタマネジメントやチェンジマネジメントの考え方を学ばせて頂きました。メタマネジメントの実際(ビジョン・ミッションの明確化、SWMD分析、戦略立案、実践、評価)を活用し、進んでいきたいと思えます。戦略を立てる策士としては未熟者ですが、熱意ある先生方の講義と私と同じく現場で奮闘中の方々と共にディスカッション出来たことは有意義であり、今後、「現場力を高める活動」を念頭に置いた戦略を立て、実践していくことを目指していきたいと思えます。

引き続き分科会へ参加していくことを希望しつつ、分科会の開催にご尽力頂いている皆様に心から感謝申し上げます。

2014年度医療安全分科会に参加して

医療法人愛仁会太田総合病院医療安全管理部 峰村尚子

医療安全分科会には第1回から毎年参加させていただいております。医療安全に関連する学会や研修会への参加は、医療安全推進活動の手がかりや、共通の目的・悩みを持つ先輩方とのネットワーク強化に繋がります。数多くある研修会や学会の中でもこの医療安全分科会は、先駆的な先生方に吟味された先読み・先取りの先見的視点のテーマに魅力を感じています。近年はスクール形式だけでなく参加型の研修会も増えてきています。この医療安全分科会でも、グループ討議の時間が多く持たれ、それぞれの参加者が自分なりの解釈を踏まえた理解に繋がると感じました。具体的には、第1回目で医療安全文化をどのように捉えて実践を評価するべきか、という導入と手解きを受け、第2～3回目でメタマネジメントの概念と戦略的実践のための知識やスキルを学ぶ機会を得ました。段階的な学びを踏まえて今回は、これまでの医療安全管理者としての活動の評価、今後に向けた戦略的な思考、先生方の具体的な活動内容とグループ討議での現状認識が統括さ